



2022年度年末手当の取組み



労働組合の力で年末手当の取組みに勝利しよう！年末手当要求を行う労働組合に連帯のメールを送りました！

2022年度年末手当勝利に向けたメッセージ

貴労働組合の日頃からの取組みに敬意を表します。共にJR東日本で働く労働者として、2022年度年末手当の勝利に向けた準備のメッセージを送ります。

東日本ユニオンは2022年度年末手当について、10月14日に経団連に申し入れを行い、「基準内賃金の7.0ヶ月分支給」を目標に掲げたたかっています。

JR東日本が9月29日に発表した2022年度第1回半期決算は、第1回半期決算としては前年比で全ての利益で黒字化を実現しました。これは会社員が黒字化実現に向けて、新型コロナウイルス感染症拡大の一途を辿っていた状況下でも独自の選別施策を生かせることができ、安全・安心輸送とサービス品質の向上、新たな組織の前進に取り組んできた結果です。

度半期のスピードアップを重視し、業績が伸びるにつれ、企画部門の再編や新規事業の拡大など、新たな会社組織づくりが進められています。新事業社においては正社員採用センターと従業員就業センターの発足や勤務体系の再編が実施され、連帯率向上の組織編成も進められています。

会社施策を担い、黒字化の実現に大きく寄与してきた社員は働きを認めています。2021年度賃金改定時における定期昇給2段階の削減をはじめ、2年連続の低水準の期末手当支給によって社員の手取りは大きく減少しました。一方で生活必需品や光熱費、食料品などの値上げが相次ぎ、月例賃金だけでは生活の維持がままならないの声もあがっています。

東日本ユニオンは、コロナ禍における経営者や労働者との間で、社員が安定した生活を営み、質の高い労働力を発揮できることを、年間最低6.0ヶ月分が必要であるとの認識のもと、年末手当として3.7ヶ月分を要求しました。安心して生活を送れる年末手当実現のためたたかいました。

JR労働者の利益を守ることを目的に、貴労働組合との意見交換や連帯に向けたメッセージをご提供いただければ幸いです。2022年度年末手当のたたかひに勝利するために、JR労働者の力を一つに結ぶご支援をお願いいたします。

貴労働組合の益々の発展と組合員ご家族の皆さまのご健康を祈念し、2022年度年末手当勝利に向けたメッセージいたします。

2022年 10月吉日
JR東日本労働組合新潟地方本部
執行委員長 星山 圭

東日本ユニオンは「基準内賃金の3.7ヶ月分支給」を柱に年末手当の取組みを展開しています。

組織や要求額は違っていますが、働くJR労働者の利益のためにたたく労働組合に東日本ユニオン新潟地本として連帯のメールを送りました！



満額回答獲得に向けて共に頑張りましょう！

東日本ユニオン寄せられるJR労働者の声

コロナ以前は年間6.0ヶ月以上で先行き不透明と言ってどれだけ利益を上げてても頭打ちだった。赤字になったら下げるだけでいつ出すのかと思う。基本給が安いからボーナスで出してもらわないと困る。

住宅ローンが厳しい。せめて3.0ヶ月は出してほしい。もらえるだけもらえれば良いが。会社は何かと理由をつけて出し渋るのではないか。社員がこれだけ苦勞しても報いてくれないだろう。

仕事はきつくなるのに賃金・手当に反映されない。このままでは若い人は辞めてしまう。以前転職された方は仕事はきつくなったが給料は上がったと言っていた。物価高もあり価格が2倍になっている。



(グループ会社社員)

要求額は多いと思ったがそれ位出しても良いと思う。社員のやる気を出させるにはお金が一番分かりやすい！